

農業技術 プリズム

硝酸化成抑制材入り肥料

は、肥料の効果が比較的長く持続でき、窒素施肥量の削減や環境保全型農業施肥技術開発の展開が期待できます。特に、粘土含量、保肥力（CEC）が高い諫早湾干拓地（灰色低地土）ではその効果が高いと考えられるため、年内どりブロッコリーで硝酸化成抑制材入り肥料を用いた窒素減肥栽培技術を検討しました。

その結果、元肥に硝酸化成抑制材入り肥料と鶏ふん堆肥を使って窒素施用量を5割／10ア削減しても、硫安となった

硝酸化成抑制材入り肥料

ブロッコリー栽培で 労働・肥料費30%減

ね油かすの慣行と同等の収量が得られました。加えて、あぜ内全面の元肥施用となり、追肥作業を省くことができるため、施肥にかかる労働費と肥料費の合計を約30%削減す



硝酸化成抑制材入り肥料 肥料中のアンモニア態窒素が硝酸態窒素に変化することを抑制する物質が含まれた肥効調節型肥料です。アンモニア態窒素は土壌に吸着しやすく硝酸態窒素は降雨などで容易に流亡します。

ることができました。

ただし、鶏ふん堆肥の施用

表 ブロッコリーの商品収量と労働費、肥料費

試験区	窒素施肥量 (kg/10a)			供試肥料	商品収量 (kg/10a)	肥料施用 時間 (分/10a)		10a 当たり 労働費 (円)	10a 当たり 肥料費 (円)	合計
	合計	元肥	追肥			元肥	追肥			
窒素減肥	24	12	—	硝酸化成抑制材入り肥料	1,128	137	—	2,854	37,335	40,189 (69)
		12	—	鶏ふん						
慣行	29	6	6 (3kg×2回)	硫安	1,181	107	42	3,104	54,770	57,874 (100)
		17	—	なたね油かす						

試験年次: 2024年
花蕾 (からい) 直径12cmを目安に収穫し花蕾の先端から16cm位置で切りそろえた重量を測定
10a当たりの追肥作業時間: 背負式散布機を用いた追肥2回の合計施用時間
10a当たり労働費: 1250円/1時間 (県農林業基盤技術) で算出
10a当たり肥料費: 25年1月現在の販売価格で算出
合計の (): 慣行の10a当たり労働費と10a当たり肥料費の合計を100としたときの割合

により栽培後の土壌中の pH が高くなり、可給態リン酸、交換性塩基も増加しやすいことから、土壌診断結果を参考に施肥設計を行いましよう。
(県農林技術開発センター 畑作営農研究部門干拓営農研究室主任研究員 清水マスヨ)